

## 外部連携機能(API)活用展開について

共通プラットフォームさいたま版では、これまでの取り組みの中での一部データについて、外部連携機能 (API) の仕組みを設けています。

### 対象プロジェクト(1)

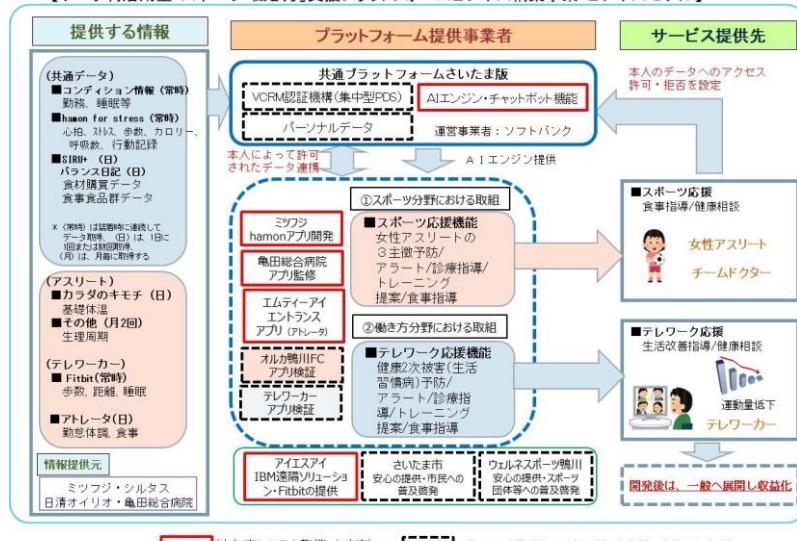
令和2年度

データ利活用型「スポーツ・働き方」支援プラットフォームビジネス構築事業

#### ■プロジェクト概要

- 働き方 (テレワーク) の分野およびスポーツ分野で、ヘルスケア情報等を活用したサービスの検証を行った。
  - 働き方の分野では、テレワーク (特に在宅勤務) に伴う運動不足やストレス等による健康被害の予防や生活習慣病改善に向け、個人ごとの提案サービスや、遠隔診療ソリューションを利用した服薬指導や相談サービスの実用可能性を検証した。
  - スポーツ分野では、女性スポーツ選手 (サッカー) を対象に、女性選手特有の3主徴予防等に体調管理向けた検証を行った。

【データ利活用型「スポーツ・働き方」支援プラットフォームビジネス構築事業・ビジネスモデル】



## ■外部連携機能(API)対象のデータ

### ① テレワーカー健康管理API

- テレワーカーがテレワークに伴う運動不足・ストレス等による健康被害の防止や生活習慣病改善に向けた個人ごとの提案サービスメニューの開発に向けて取得・活用したデータ

- 脈拍・呼吸・睡眠等の情報
- 食事履歴等の情報

### ② 女性スポーツ選手体調管理AP

- 女性スポーツ選手の3主徴予防等体調管理機能の実用化に向けて取得したデータ
- 脈拍・呼吸・睡眠等の情報
- 食事履歴等の情報

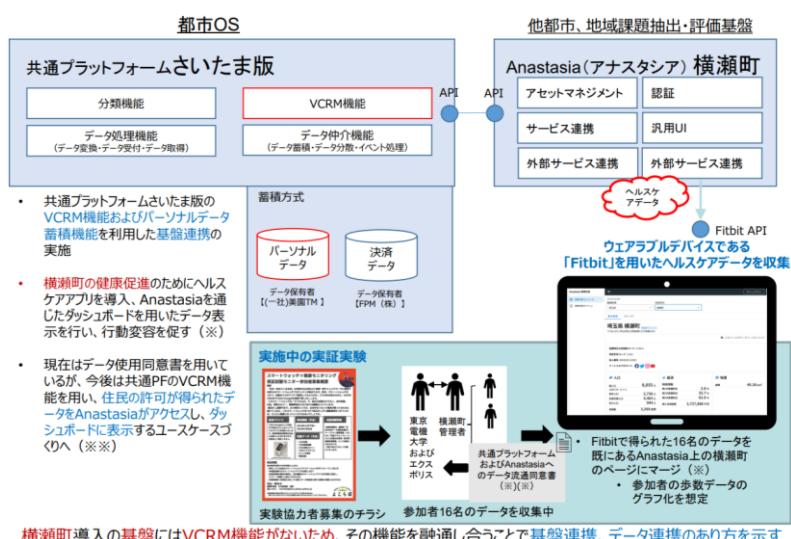
## 対象プロジェクト(2)

令和3年度

共通プラットフォームさいたま版の分野間・都市間連携促進事業

## ■プロジェクト概要

ヘルスケアおよびスポーツ分野で、ヘルスケア情報を活用したサービスの拡充を行うとともに、今後は、同一の情報基盤（共通プラットフォームさいたま版）を複数での自治体での共同利用していくことを想定した形でシステムの改善を行った。



## ■外部連携機能(API)対象のデータ

### ① たまぽんデータ管理API

- さいたま市内で使える地域ポイントサービスである「たまぽん」アプリの利用履歴にデータ

### ②テレワーク対策ミニアプリ管理API

- テレワーク対策ミニアプリ「StandUp」の利用履歴データ

### ③ スポーツ安全データ管理API

- スポーツアプリにて取得した利用者のヘルスケアデータ
  - 体温、睡眠、食欲疲労感など

---

## 外部連携機能(API)の利用について

上記外部連携機能 (API) は、データ取得元となるプロジェクト参加者 (モニター) 個人のヘルスケアに関する情報を含むこと、および取得・活用データについては、複数のプロジェクト関係者 (企業) から提供されたものもあることから、外部連携機能 (API) 利用については、事前に目的・連携内容・データの取り扱い方等を審議の上、利用の合意 (契約) が認められた場合にのみアクセス可能となります。利用方法等についての詳細については、個別にお問合せください。